

室戸台風直後における清水山国有林



室戸台風(昭和9年9月21日)により風倒した木々。このときヒノキの被害が最も甚大であり、被害の形態としては、アカマツは幹折れ、ヒノキは転倒が目立った。

(昭和9年9月24日撮影)

出典:風害木整理実況(東山復興事務所:昭和9年12月)

高台寺山国有林におけるシイ林の広がり

序 7

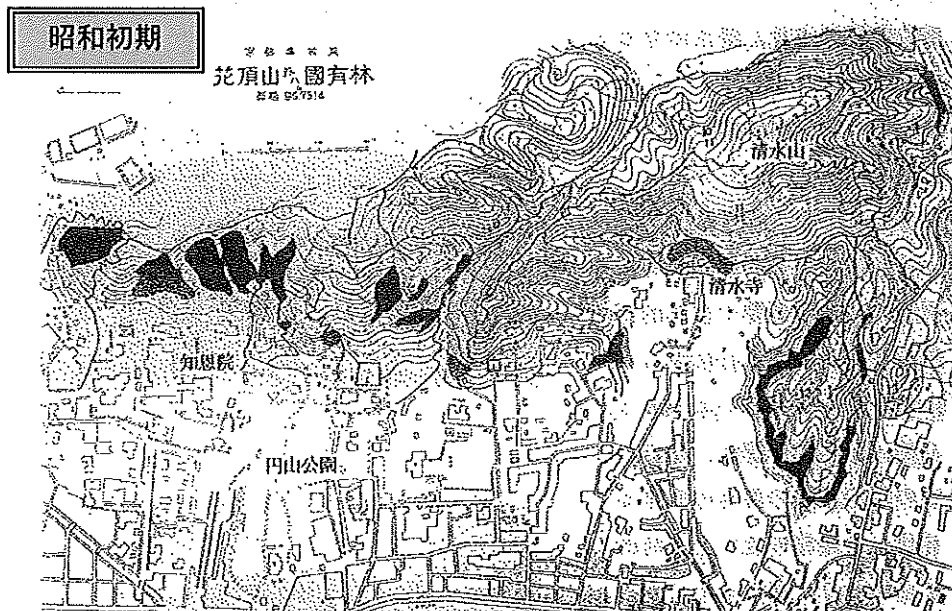


図-1 東山中央部における昭和初期のシイ林の広がり
(黒い部分は国有林内のシイ林、斑状の部分は推測した国有林外のシイ林)

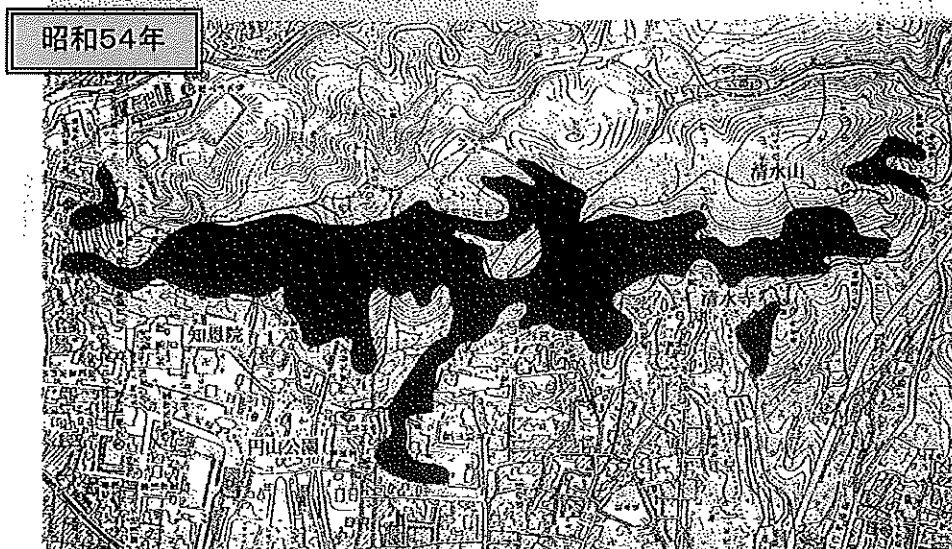


図-2 東山中央部における昭和54年(1979)のシイ林の広がり

出典:「人と景観の歴史」(小椋純一)